

平成27年度第4回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表
その1

議員名	件名	要旨
1 櫻井 英夫	選挙管理の厳格化について (選挙管理委員長) (町長)	<p>政治家の選出は公職選挙法に則って行われているが、選挙毎に各地で選挙違反が絶えない。本町も例外ではなく逮捕者も出ている。これは氷山の一角であり、買収、供応の事実があっても摘発されることなく看過されている。</p> <p>特に悪質なのは他人の入場券を集め、替え玉投票をさせる行為である。期日前投票要件が緩和されて投票しやすくなった反面、替え玉投票が横行する恐れがある。本人確認の厳格化が必要。</p> <p>執行部の現状認識とその防止策について見解を求める。</p>
	長期総合計画について (町長)	<p>第4次長期計画は、平成17年度から26年度の10ヶ年を対象に計画策定され、26年度中に改定して27年度から第5次として切れ目なくスタートする予定だった。ところが、議会にいままだ提案されていない。長期計画策定の今後のスケジュールと総合戦略との関連性を問う。</p>
	駅裏の再開発について (町長)	<p>かつて豊前川崎駅周辺では跨線橋を主体に約13億円の税金投入がなされたが、果たして劇的に何かが変わっただろうか。駅裏もほとんど利用されていない状況にあるが、もっと活用検討の余地はないか。</p> <p>ここにきて川崎駅無人化の方針が打ち出されているが、その対応は。</p>
	林業振興について (町長)	<p>①平成21年、農水省は森林・林業再生プランを策定しているが、本町はこれをどのように検討し、政策に反映させているのか。林業振興策はどのように考えているか。田代林道の延長を提案する。</p> <p>②福岡最大級大ヶ原地区ソーラー事業と森林開発認可の背景説明を。</p>
	社会教育の活性化について (教育長)	<p>元気な町は社会教育が充実している。本町は圧倒的に交流事業が乏しい。ブレアザ交流は廃止、雪舟サミットも脱退。国内外はおろか町内の交流事業さえ停滞気味である。これまでの既存事業を再点検し、さらに活性化すべきではないか。</p> <p>中学校は中体連などあるが、小学校にはそんな交流の仕組みがない。公共による新たな連携の仕組みづくりを行う必要はないか。例えば、4小学校合同の運動会、文化祭、音楽祭、ふれあい合宿など提案する。安宅ふれあいセンターの活用も。</p>

平成27年度第4回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表
その2

議員名	件名	要旨
2 千葉 加代子	土砂災害について	<ul style="list-style-type: none"> ・本町の現状 ○土砂災害危険箇所は、何箇所か把握されていますか。 ○地域住民に対する周知は、ハザードマップの他にありませんか。 ○今後の調査予定は。
	ふるさと納税について	<ul style="list-style-type: none"> ・税込アップに向けての取組。 ○現在の状況と今後の対策を。
	子どもの権利条例について	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利条例の制定 ○「ネグレクト」「子どもの貧困」等、子どもを取り巻く環境の実態等把握はできていますか。 ○効果的な対策は。 ○制定に向けての考えは。
3 原 節雄	平成13年以来、財政健全化のため議員支払賃金、日当、報酬の状況について	議会報酬、非常備消防手当、区長会、農業委員会、住宅管理人、その他の団体等の費用が財政健全化計画で示した、計画はどうなっているか、このことについて尋ねる。
4 樋口 秀隆	今後の町営住宅6階建て高層化を低層計画に変更見直しはできないか	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎町町営住宅長寿命化計画によると、最終的には2000戸の管理戸数とするとあるが、そのうち360戸（10棟、全体の18%）ほどを6階建てのエレベーター付き高層住宅とするとの計画のようである。しかしながら、これは本町の中小建設業者、その関連業者、企業の保護、育成という観点から考えると、その趣旨にそぐわないのではないかと考える。 高層と低層の戸あたりの建設費用も、その差はエレベーターなどの費用を除くと100万円ほどであり、その差は360戸で3億6000万円であるが、確かにこれは一般住民が負担する貴重な税金であるといえる。 だが、資金の地域内循環など経済的な波及効果を考えると、決して財政の無駄遣いとはならないと考える。既に実施計画に入っている3棟を除く、残り7棟の変更見直しについて行政の考えを問う。
5 手嶋 真由美	防災・減災の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ①台風15号による被害状況は？ ②対策本部で気づいた点や今後の課題等をお聞かせください。

平成27年度第4回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表
その3

議員名	件名	要旨
5 手嶋 真由美	障がい者に対する支援の拡充を	①各種障がい者手帳の所持状況と年齢別所持者数、身体障がい者手帳所持者の部位別状況は？ ②地域生活支援事業の中の住宅改修給付事業において、視覚障がい者は該当しないということで、手すり等を取りつけることができませんでした。 今後見直し等をしていく予定は？
	生活困窮者自立支援事業の相談窓口の周知を	①生活困窮者自立支援事業の担当は県の福祉事務所ですが、本町の窓口は？ ②町民への周知はどのようにしていますか？
6 松岡 久代	スクールゾーンの整備を問う	徳重酒店前から東田原橋迄の道路整備についてお尋ねする。
	中学校・小学校に空調機設備とトイレの改修	学力の底上げには環境充実が不可欠と、トイレの汚い、暗い、臭いのイメージを払拭させることにより、学力の底上げに繋がると思っています。喫緊の課題をお尋ねしたい。
	地方の裁量を望む	自然災害の時の保育園に対しての臨時休園の円滑な指示を問う。
7 繁永 英樹	行政機関や学校にタブレットの導入を検討できないか？	エコやCO ₂ 削減など、環境問題を重要視するなら、自ら行政ゴミの大部分を占める廃棄紙削減を行い、各経費削減や時代に合うサービス提供や教育推進のために、役場、中学校などからタブレットの導入推進ができないでしょうか？
8 手嶋 康德	農産物直売所の活性化について	農産物直売所がオープンして10年が経過しており、経営形態が平成24年度までは生産者組織による利用組合でありましたが、25年度は町営となり、26年度は町が100%出資の株式会社が指定管理者となり、直売所とレストランが経営されていますが、現在の直売所は「元気がない」、「品物が少ない」状況でありますので、農産物の出荷量の増大、生産者の拡大、施設の拡充等の対策、また、出荷者の組織が現在ありませんので、生産者の声が直売所に反映されていないと思われまます。 早急に出荷者の組織をつくるべきと思いますが、町長のお考えをおたずねします。
	豊前川崎駅から農産物直売所までの観光道路の整備について	町民や来訪者の安全性と快適性を兼ねた観光道路の整備を行うことにより、魚楽園やラピュタファーム、戸山原古墳などの点在している観光資源を活かすためにも必要と思われまます。町長のお考えをおたずねします。

平成27年度第4回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表
その4

議員名	件名	要旨
8 手嶋 康徳	ふるさと納税について	<p>進学や就職で地方から都市部に人が移動することで生じる税収格差を解消するために、2008年から始まった制度であり、川崎町では「かがやけ川崎応援寄附金」として取り組みを行っていますが、今年度からは税の控除額が2倍となっています。</p> <p>返礼品についても川崎町の特色を活かした特産品の開発等を行い積極的に取り組むべきと思われますが、町長のお考えをおたずねします。</p>
9 谷口 武雄	教育指針で人材育成を ※ 現在、教職員に対する指針がありますか	<p>① 川崎町教職員に対する指針。 ② 教育施策（児童、生徒）項目数。 ③ 新人・青年教育者のために何にでも気軽に相談ができる教育サポートセンターの設置を。</p>
	町内全ての防犯灯をLED化へ	電球の寿命が長く、電気経費の削減とCO2削減のために（環境）（約6割カット）
	民間委託する ^{エスコ} ESCO事業についての考えを問う	<p>神奈川県秦野市は、市内すべての防犯灯、約1万3,000基の照明をLEDに切り替え、この際、照明の交換や修繕、維持管理などを民間事業者へ委託したESCO事業を採用しました。</p> <p>町長の考えを問う。</p>
10 寺田 響	はばたけ塾の推進を	<p>川崎町がはばたけ塾を2012年6月に開設してから3年が過ぎました。現在では塾の対象となる小学4、5、6年生が69人、中学1、2、3年生が32人の計101名がはばたけ塾に通っていますが、対象生徒数全体での割合は7%です。しかも年々はばたけ塾に通う生徒は減少しているとの報告を受けております。もっと多くの子ども達にはばたけ塾に通ってもらおう対策が必要ではないでしょうか。</p>
	学力向上の取り組みは	<p>平成26年度全国学力・学習状況調査報告では、小学校（国語A、B 算数A、B）中学校（国語A、B 数学A、B）の教科において、県平均から小学校は10.7点～15.5点低く、中学校では8.1点～19点低い結果となり、抜本的な教育環境改善が必要だと感じています。</p> <p>教育改善に成功している県内の市町村では、学校と地域との連携を強めることを重要視しています。</p> <p>川崎町でも教育環境改善の一環として、地域との連携を強く図ることを望みますが、今後の川崎町の学力向上の取り組みについて、具体的な施策はありますか。</p>